

洋上風力促進のための区域の選定等に関する有識者会議（第10回）

○開催日

令和5年4月24日(月)

○議題

- ・ 2023年度の有望な区域の整理案(1回目)について

○概要

<有望な区域の選定について>

- 有望な区域の整理案について異論はなかった。
- 委員からの主な意見や質問は以下のとおり。
 - ✓ ノンファーム型接続を前提に系統連係可能とのことだが、5区域を有望な区域として整理した後の一斉に案件形成が進むと、道内での出力抑制の影響を受けて、実際には5区域すべては接続できないといった事態は生じないのか。
 - 【事務局】北海道においては系統調査のほかに、海底直流送電の整備等を通じた出力変動対策を並行して実施しているところ。促進区域に指定する段階では、その時点の各区域及び系統整備の状況を踏まえ公募における系統の取扱いを整理する。
 - ✓ 国による系統調査の今後の見通しについてはいかがか。
 - 【事務局】大きな方向性として、系統については国が整理していく形に一本化していく旨洋上WG合同会議において公表済みであるが、既に事業者が確保した系統も存在するため、時期や方法については、今後整理していく。
 - ✓ 系統確保だけでなく、全体としてセントラル方式を進めていくものと思うが、今回国が系統に関する調査を行った各区域について、風況調査、環境アセス等についてはどのような取扱いになるのか。
 - 【事務局】北海道の3区域については、セントラル方式による風況等のサイト調査対象区域に選定した。環境アセスについては環境省において制度面の検討を行っており、その結果を踏まえて今後議論していくことになる。
 - ✓ 港湾の利用については、事業者が提案を検討するにあたって重要な点でもあるので、港湾整備の方針は早めに打ち出していきたい。
 - ✓ 利害関係者調整においては、現場の漁業者も含めた各関係者と丁寧なコミュニケーションを図り、不安を払拭していくことが重要。